

2024年度  
全国統一防火標語

守りたい  
未来があるから  
火の用心



2024.9

7



— 2024年度 —  
みんなで守ろう公共の建物



# 公共建物の防火診断

防止！



公共建物を火災から守るためには、  
日頃から防火管理の面を中心に**火災予防対策**を心掛ける必要があります。  
この冊子は、公共建物を管理するうえで適正な防火・安全対策を図るため、  
平素から特に注意しておかなければならない事項を掲げたもので、  
**だれでも簡単にできる防火診断です。**  
この冊子を有効に利用して、公共建物の火災予防に役立てて下さい。

## 診断の方法

- ① 防火管理担当の方は、診断事項をよく読んで現場を点検して下さい。
- ② 点検結果により不適と判断し、改善または補修が必要な場合は、建物の管理者等に速やかに連絡し、対処するよう努めて下さい。

一般財団法人 全国自治協会

防火管理

防火管理者は選任されているか。

消防計画は作成されているか。

自主チェック体制は確立されているか。

火気使用場所の一覧表・配置図等は備付けてあるか。

消防用設備の点検や操作取扱についての訓練を実施しているか。

通報連絡等の予行訓練を定期的に行っているか。

夜間の巡視体制を確立しているか。

定期的に消防関係機関の予防査察を受けているか。

消火施設

消火器の設置数に不足はないか。

消火器に消火薬剤の漏れ、著しい変形、損傷、腐食等はないか。

消火栓設備の配管等に変形、損傷、漏水、腐食等はないか。

消火栓、消火器の設置場所は適切か。設置場所が明示され、わかりやすいか。

消防用設備

非常ベル、自動式サイレンの未設置はないか。

非常ベル、自動式サイレンの非常電源の自動切替が適正か。

スピーカーの未設置はないか。

スピーカーの操作装置等の機能が適正であるか。（放送試験により確認）

火災報知器設備の機能は適正か。取付場所は適切か。



ガス・石油等の燃焼器具

ガス・石油器具を使用する際、まわりに可燃物はないか。

ガス器具は故障したまま使用していないか。検定済みの器具を使用しているか。

ガス器具のホースは腐食、破損していないか。ホースの接続は安全か。

ホースは不必要に長くなっていないか。また、器具に接近しすぎていないか。

ガスの元栓を締める習慣があるか。

コンロは不燃性の台の上で使用されているか。

プロパンガス容器(20リットル以上のボンベ)は建物内(法令による指定地区を除く)に持ち込んで使用していないか。日陰に置き、転倒しないように設置されているか。

ガス湯沸器のまわりの可燃性の部分は、遮熱または被覆されているか。

ストーブは人通りの多いところに置かれていないか。ホースを足で踏みつけるようなことはないか。

石油器具を使用中に給油することはないか。

石油器具は、不燃性の容器を使用し、容器の置き場所は不燃性の床としているか。

電気関係

絶縁抵抗計等により定期的に屋内配線の絶縁抵抗の試験を行っているか。

引き込み線などの電線が他の電線やトタン屋根、アンテナ、ガス管などの金属物に接触していないか。また、その恐れはないか。

引込口の刃型開閉器や安全器が過度に熱くなっていないか。また、金物の色が熱のために変わっていないか。

屋内配線の接続点及びコンセントプラグの接触が悪く、熱をもっていることはないか。

モーターの回転調整はよいか。アースがとってあるか。また、雑物に覆われているようなことはないか。

分岐ソケットを何個も繋いでコードを蜘蛛の巣状にして使っていないか。

避雷設備

避雷設備に損傷箇所はないか。

避雷器の設置及び設置位置、仕様は適正か。